

令和4年12月26日（月曜日）予算特別委員会

○出席委員（15名）

2番	太田陽子	委員	3番	鈴木みゆき	委員
4番	安孫子義徳	委員	5番	月光裕晶	委員
6番	後藤健一郎	委員	7番	渡邊賢一	委員
8番	古沢清志	委員	9番	佐藤耕治	委員
10番	太田芳彦	委員	11番	阿部清	委員
12番	沖津一博	委員	13番	荒木春吉	委員
14番	柏倉信一	委員	15番	木村寿太郎	委員
16番	伊藤正彦	委員			

○欠席委員（なし）

○遅刻委員（なし）

○早退委員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

佐藤洋樹	市長	菅原隆平	副市長
佐藤志津男	教育長	鈴木隆	総務課長（併） 選挙管理委員会 事務局局長
武田伸一	企画創成課長	石橋慶幸	デジタル戦略 課長
小泉尚	財政課長	大江幸範	市民生活課長
武田新二	建設管理課長	猪倉秀行	農林課長（併） 農業委員会 事務局局長
小林博之	商工推進課長	山田良一	さくらんぼ観光 課長
小林弘之	健康福祉課長	志鎌重美	子育て推進課長
今野育男	学校教育課長	渡邊健一	生涯学習課長

○事務局職員出席者

東海林茂美	事務局長	柏倉勝郎	局長補佐
堀和敏	総務係主事	古谷駿幸	総務係主事

予算特別委員会議事日程第2号 第4回定例会
令和4年12月26日(月) 午前9時30分開議

再開

- 日程第1 議第59号 令和4年度寒河江市一般会計補正予算(第10号)
" 2 分科会審査の経過並びに結果報告
(1) 総務産業分科会委員長報告
(2) 厚生文教分科会委員長報告
" 3 質疑・討論・採決
閉会

本日の会議に付した事件

議事日程第2号に同じ

再開 午前9時30分

- 佐藤耕治委員長 おはようございます。
ただいまから予算特別委員会を再開いたします。
出席委員は定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

議案上程

- 佐藤耕治委員長 日程第1、議第59号令和4年度寒河江市一般会計補正予算(第10号)を議題といたします。

分科会審査の経過並びに結果報告

- 佐藤耕治委員長 日程第2、分科会審査の経過並びに結果報告であります。

総務産業分科会委員長報告

- 佐藤耕治委員長 初めに、総務産業分科会委員長報告を求めます。後藤総務産業分科会委員長。
〔後藤健一郎総務産業分科会委員長 登壇〕

- 後藤健一郎総務産業分科会委員長 おはようございます。

総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本分科会は、12月20日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第59号第1表中歳入全部、歳出第2款、歳出第6款から歳出第8款まで及び歳出第11款並びに第2表並びに第3表であります。

順を追って審査の内容を申し上げます。

初めに、議第59号令和4年度寒河江市一般会計補正予算(第10号)第1表中歳入全部を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第1表中歳出第2款を議題と

し、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「寒河江温泉管理事業について、源泉をくみ上げる管の破損とのことだったが、何年経過しているのか、またどのように修繕するのか」との問いがあり、当局より「昭和55年に採掘しており、42年が経過しております。現在埋まっている管の中に一回り小さいパイプを中に設置し、さび、砂の混入を防ぐ工事を行います」との答弁がありました。

委員より「基金管理事業、役務費はポータルサイト運営会社に対しての手数料とのことだったが、何社に対してこの金額なのか」との問いがあり、当局より「現在6社に委託しております」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第1表中歳出第6款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「今回撤去した法定外公共物の原因は」との問いがあり、当局より「法定外公共物である水路について、造った当時と現状の測量結果に若干の誤差があり、水路の擁壁が宅地開発中の民地にはみ出していることが分かりました。開発者側と調整し、はみ出した擁壁を撤去する工事を行っていただきました」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第1表中歳出第7款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第1表中歳出第8款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「今回の道路新設改良事業の委託料

はどこまでを想定しているのか」との問いがあり、当局より「平塩橋は一級河川に架かっておりますので、新設架け替えをしていくためには2段階ぐらい予備設計が必要となります。このたびの予備設計の段階で全体設計を組み、全体的な協議や地権者との調整といった計画を進めていくこととなります。今回の委託料は最初の予備設計に係る費用となります」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第1表中歳出第11款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「公共土木施設災害復旧費1億3,380万円には、8款で審査した将来にわたって災害を防ぐための工事も含まれるのか」との問いがあり、当局より「災害復旧は原形復旧となります。対策については、公園事業費の中で計画を練って、今後、その計画で対策の工事を行うこととなります」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第2表を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第59号第3表を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

以上で、総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

厚生文教分科会委員長報告

○佐藤耕治委員長 次に、厚生文教分科会委員長報告を求めます。鈴木厚生文教分科会委員長。

〔鈴木みゆき厚生文教分科会委員長 登壇〕

○鈴木みゆき厚生文教分科会委員長 厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告申しあげます。

本分科会は、12月20日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第59号令和4年度寒河江市一般会計補正予算（第10号）第1表中歳出第3款、歳出第4款及び歳出第10款であります。

順を追って審査の内容を申しあげます。

初めに、議第59号令和4年度寒河江市一般会計補正予算（第10号）第1表中歳出第3款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申しあげます。

委員より「総合福祉保健センター管理事業について、電気料金高騰により光熱水費約700万円を追加することのことだが、この金額を算出した根拠は」との問いがあり、当局より「4月以降、燃料費調整単価が毎月上がっていることや、10月以降の施設利用者の増加、さらには冬場の電気使用量の増加を加味し、東北電力のホームページにおいてシミュレーションを行い算定しました」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、歳出第4款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、歳出第10款を議題とし、当局の説明を求め質疑に入りました。

主な質疑の内容を申しあげます。

委員より「学校給食事業について、物価高騰により給食の原材料費の1食単価を増額することのことだが、この金額を算定した根拠は」との問いがあり、当局より「令和4年4月から9月までに実際にかかった賄材料費を基に、小学校

は10円増の310円、中学校は50円増の380円と算定しました」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

以上で、厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

質疑・討論・採決

○佐藤耕治委員長 日程第3、これより質疑・討論・採決に入ります。

初めに、総務産業分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

次に、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

これより議第59号令和4年度寒河江市一般会計補正予算（第10号）を採決いたします。

本案に対する各分科会委員長報告は、いずれも原案を了とするものであります。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。

よって、議第59号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

閉 会 午前9時41分

○佐藤耕治委員長 以上をもって予算特別委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上会議の結果を記載し、相違ないことを証する
ために署名する。

予算特別委員会委員長 佐藤 耕治